

リスクの区分・評価方法

(1) 負傷又は疾病の重篤度（被害の程度）の区分

重篤度（被害の程度）	点数	災害の程度・内容の目安
致命的・重大	×	死亡災害や身体の一部に永久的損傷を伴うもの 休業災害（1ヶ月以上のもの）、一度に多数の被災者を伴うもの
中程度	△	骨折等長期療養が必要な休業災害及び障害が残るケガ
軽度	○	上記以外の休業災害（医師による措置が必要なケガ）

(2) 負傷又は疾病の発生の可能性の区分（接近の頻度や時間、回避の可能性）

発生の可能性	点数	災害の程度・内容の目安
頻度・可能性が高いか比較的高い	×	毎日頻繁に危険性又は有害性に接近するもの かなりの注意力でも災害につながり回避困難なもの
時々・可能性がある	△	故障、修理、調整等の非定常的な作業で危険性又は有害性に時々 接近するもの、うっかりしていると災害になるもの
殆どない・可能性が殆どない	○	危険性又は有害性の付近に立ち入ったり、接近することが滅多に ないもの、通常の状態では災害にならないもの

(3) リスクの評価

発生頻度・可能性	重篤度	リスクの評価		
	致命的・重大 ×	中程度 △	軽度 ○	
頻度・可能性が高いか比較的高い ×	×	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ
時々・可能性がある △	△	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ
殆どない・可能性が殆どない ○	○	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ

リスク	重篤	可能性	リスクの見積り	対策の優先度
Ⅲ	×	×	直に解決すべき又は 重大なリスクがある	措置を講ずるまで作業停止する必要がある 十分な経営資源（費用と労力）を投入する必要がある
	×	△		
	△	×		
Ⅱ	×	○	速やかにリスク低減措置を講ずる 必要のあるリスクがある	措置を講ずるまで作業を行わないことが望ましい 優先的に経営資源（費用と労力）を投入する必要がある
	△	△		
	○	×		
Ⅰ	△	○	必要に応じてリスク低減措置を 実施すべきリスクがある	必要に応じてリスク低減措置を実施する
	○	△		
	○	○		